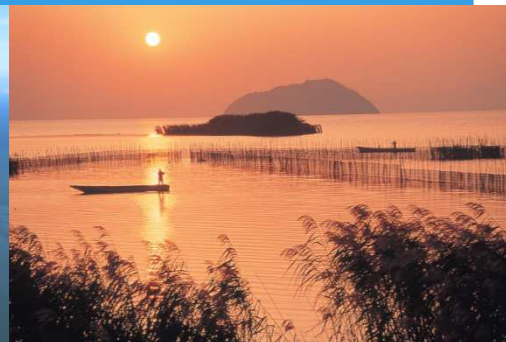


日本遺産フォーラム in 滋賀

入場無料

琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産



日時：平成27年 9月27日(日) 13時30分～(開場13時)

会場：ピアザ淡海 3階 大会議室〔定員216名〕

(滋賀県立県民交流センター・大津市におの浜1-1-20・TEL077-527-3315)

—————プログラム—————

・日本遺産の認定と魅力発信推進事業について

文化庁文化財部記念物課 課長 加藤弘樹 氏

・日本遺産を活かした滋賀の魅力発信 (仮題)

滋賀県立琵琶湖博物館 館長 篠原 徹 氏

・日本遺産を活かした観光振興について

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会(滋賀県観光交流局) 谷口良一

・リレートーク ～わがまちの日本遺産の魅力～

大津市・彦根市・近江八幡市・高島市・東近江市・米原市

—————お問い合わせ—————

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会事務局

(滋賀県商工観光労働部観光交流局) TEL: 077-528-3741

会場入口(ホワイエ)にて

日本遺産構成文化財

パネル展など開催!!

主催：日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会

滋賀県・大津市・彦根市・近江八幡市・高島市・東近江市・米原市
公益社団法人びわこビジターズビューロー・公益財団法人滋賀県文化財保護協会

★裏面より参加お申し込みください!





日本遺産フォーラム in 滋賀

琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産

水と祈りの文化



水と暮らしの文化



水と食文化(伝統漁法)



穢れを除き、病を癒すものとして祀られてきた水。

瑠璃色に輝く琵琶湖の周囲では、「水の浄土」の教主・薬師如来が広く信仰されてきました。琵琶湖をのぞんで建立された寺社は、今日も多くの人々の信仰を集めています。

また、琵琶湖とともに育まれたくらしのなかには、山の水や湧き水を使いながら、水を汚さない「暮らしの文化」が、現在もお伝わっています。

さらに、湖辺の集落や湖中の島では、米と魚を活用した鮎ずしなどの独自の食文化や、エリなどの伝統的な漁法が育まれてきました。

古くから芸術や庭園の題材に取り上げられてきた琵琶湖とその水辺は、多くの生き物を育むとともに、近年では、水と人の営みが調和した文化的景観として多くの現代人を惹きつけています。

ここ滋賀には、日本人の高度な「水の文化」の歴史が集積されているのです。

「日本遺産フォーラムin滋賀」のご案内

入場
無料

このたび、滋賀県と大津市・彦根市・近江八幡市・高島市・東近江市・米原市が申請した「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」が日本遺産の初選定18件のひとつとして認定されたことを記念して、「日本遺産フォーラムin滋賀」を開催します。

フォーラムでは、日本遺産の魅力を広くPRするとともに、県民のみなさんとともに滋賀の潜在的な魅力を再認識し、“水”をテーマとするストーリーでの交流による観光振興と、地域づくりの必要性を共有する場にしたいと考えています。多数のご参加、お待ちしております。

本状にご記入の上、期日までにファックスにてご返送ください。

★ご返送締め切り：平成27年9月24日（木）

お名前： (ご所属：)

お名前： (ご所属：)

お名前： (ご所属：)

代表の方のご連絡先電話番号：

ご返送FAX 077-521-5030

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会事務局
(滋賀県商工観光労働部観光交流局)